

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

2023年11月14日

代表取締役社長 齋藤 潔



株式会社アルファシステムズ

目次

2024年3月期 第2四半期 決算概要

2024年3月期の見通し

経営戦略

巻末資料

2024年3月期
第2四半期 決算概要

systems

経営成績

ほぼ期首計画通りに着地

2Q売上高としては過去最高も、利益は前年同期比で減少

	2023.3 2Q		計画値	2024.3 2Q		前年同期比 増減率	対業績予想 達成率
	実績金額	売上比		実績金額	売上比		
売上高	17,387	—	17,500	17,653	—	1.5%	100.9%
営業利益	2,059	11.8%	2,000	2,003	11.3%	▲2.8%	100.2%
四半期純利益	1,432	8.2%	1,370	1,384	7.8%	▲3.4%	101.0%
1株当たり 四半期純利益	102.03円	—	97.58円	98.58円	—	—	—

単位：百万円

セグメント別の状況

セグメント別の売上高・営業利益

	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前年同期比 増減額	営業利益
ソフトウェア 開発関連	16,977	17,059	82 (0.5%)	1,966 (▲2.9%)
プロダクト・ サービス ("その他"事業)	410	593	183 (44.7%)	41 (7.0%)
全体	17,387	17,653	266 (1.5%)	2,007 (▲2.7%)

売上高はセグメント間の振替前、営業利益は調整前の数値（調整額は▲4百万円）
単位：百万円、（）内は前年同期比増減率

■ソフトウェア開発関連

《売上高》

大規模案件で開発計画の変更があり、4月以降、開発体制の縮小に伴う一時的な稼働減が発生した影響により、前年同期並み

《営業利益》

良好な事業環境を背景に要員シフトは順調に進捗したものの、人件費の増加を吸収するには至らず、前年同期に比べて減少

事業区分別の状況(通信システム)

通信システムの売上高

	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
ノード	1,169	1,253	84	7.2%
モバイル ネットワーク	1,133	951	▲182	▲16.1%
ネットワーク マネジメント	2,149	1,624	▲525	▲24.4%
通信システム	4,451	3,828	▲623	▲14.0%

単位：百万円

- モバイルネットワークは
基地局関連が減少
- ネットワークマネジメントは
前年同期の増収に寄与した大型案件
収束により減少

事業区分別の状況(オープンシステム)

オープンシステムの売上高

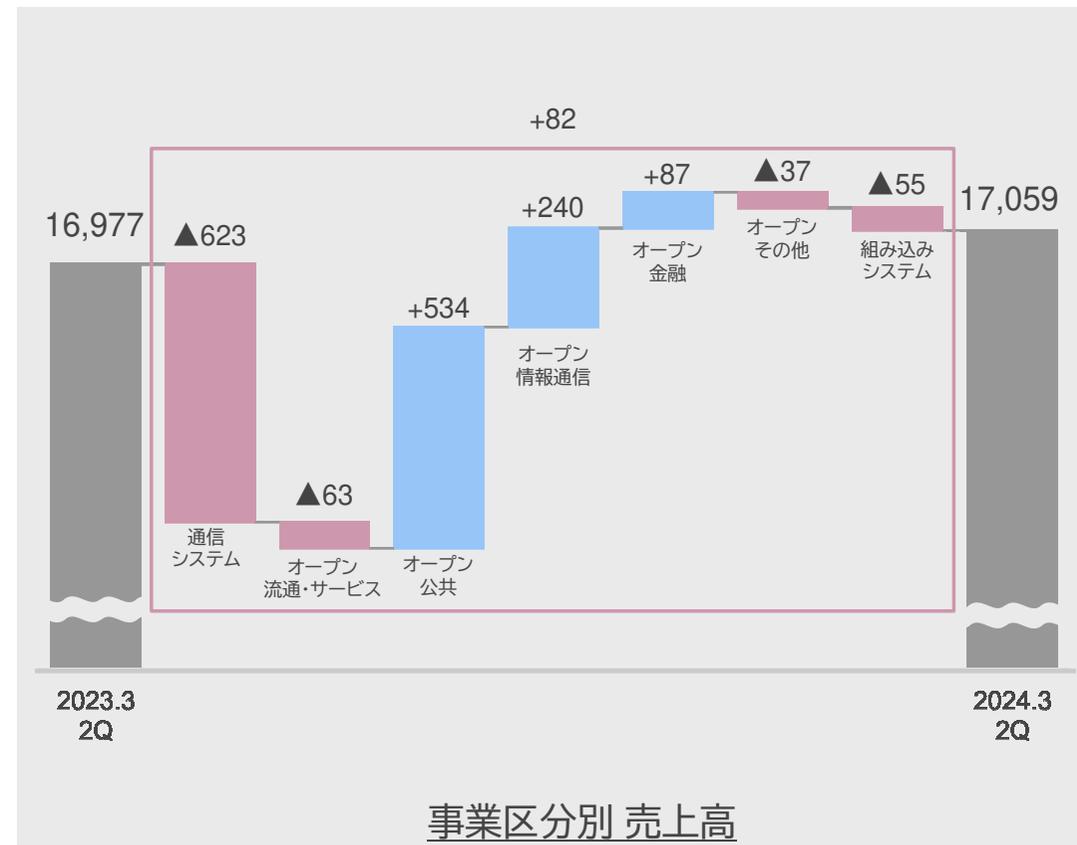
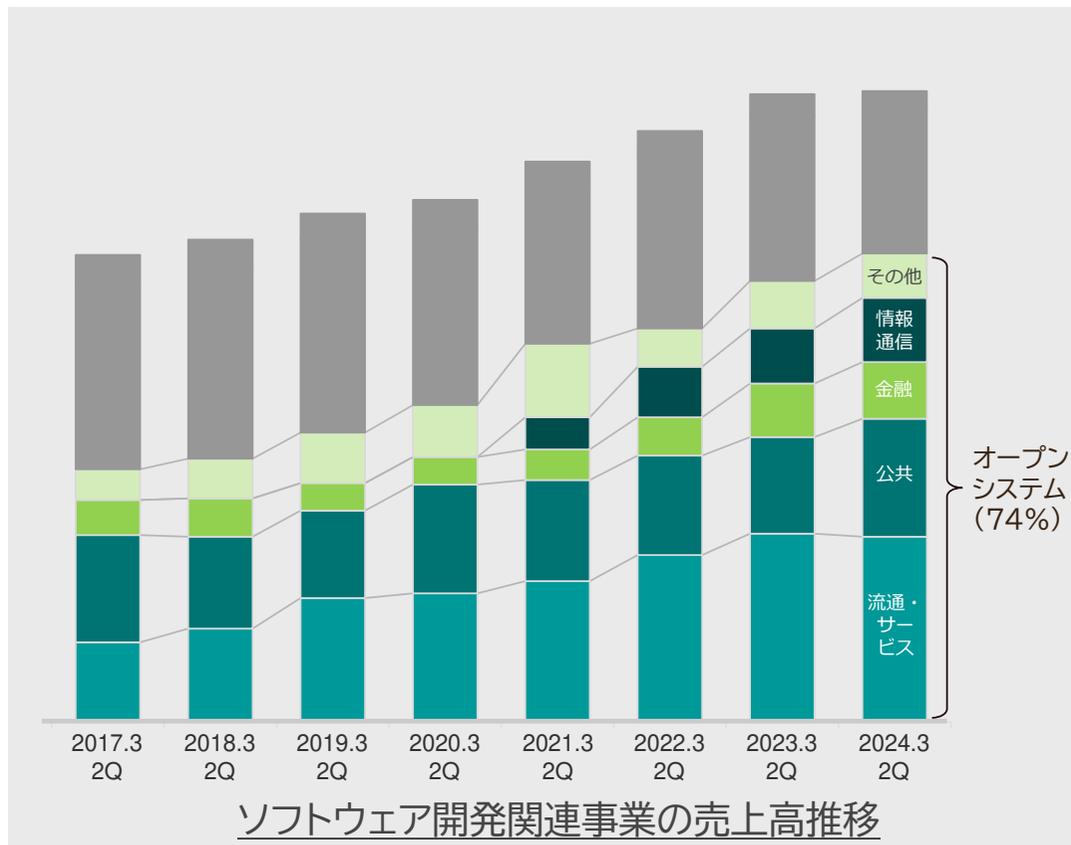
	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
公共	2,627	3,161	534	20.3%
流通・サービス	5,081	5,018	▲63	▲1.2%
金融	1,450	1,537	87	6.0%
情報通信	1,494	1,734	240	16.0%
その他	1,258	1,221	▲37	▲3.0%
オープンシステム	11,912	12,672	760	6.4%

単位：百万円

- 公共は官公庁関連が増加
- 流通・サービスはEコマース関連が減少
- 金融はキャッシュレス決済システム関連が増加
- 情報通信はDX関連・サービス基盤関連が増加

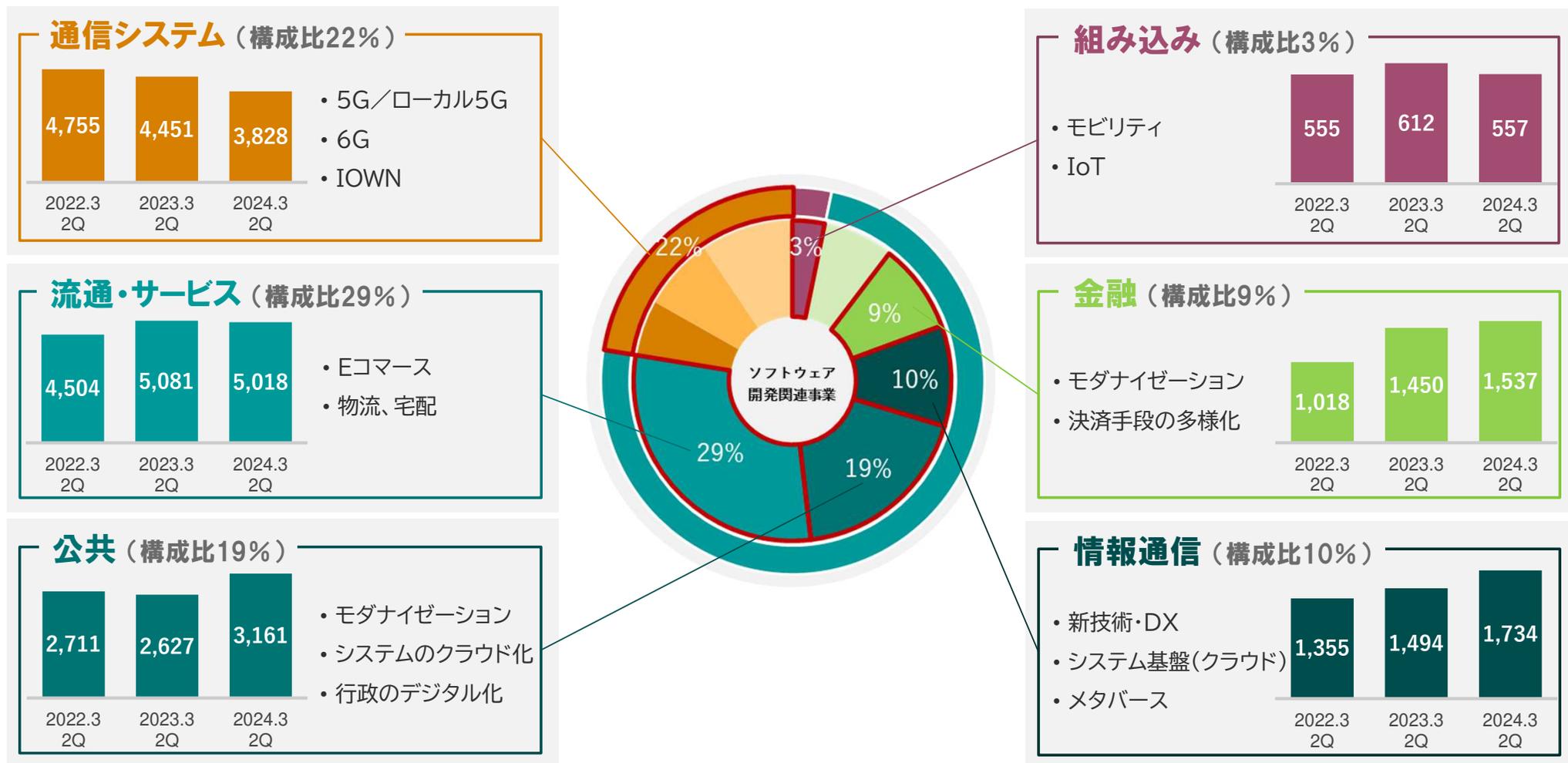
事業区分別の状況(ソフトウェア開発関連①)

「流通・サービス」は上昇一服、「公共」「情報通信」が増加

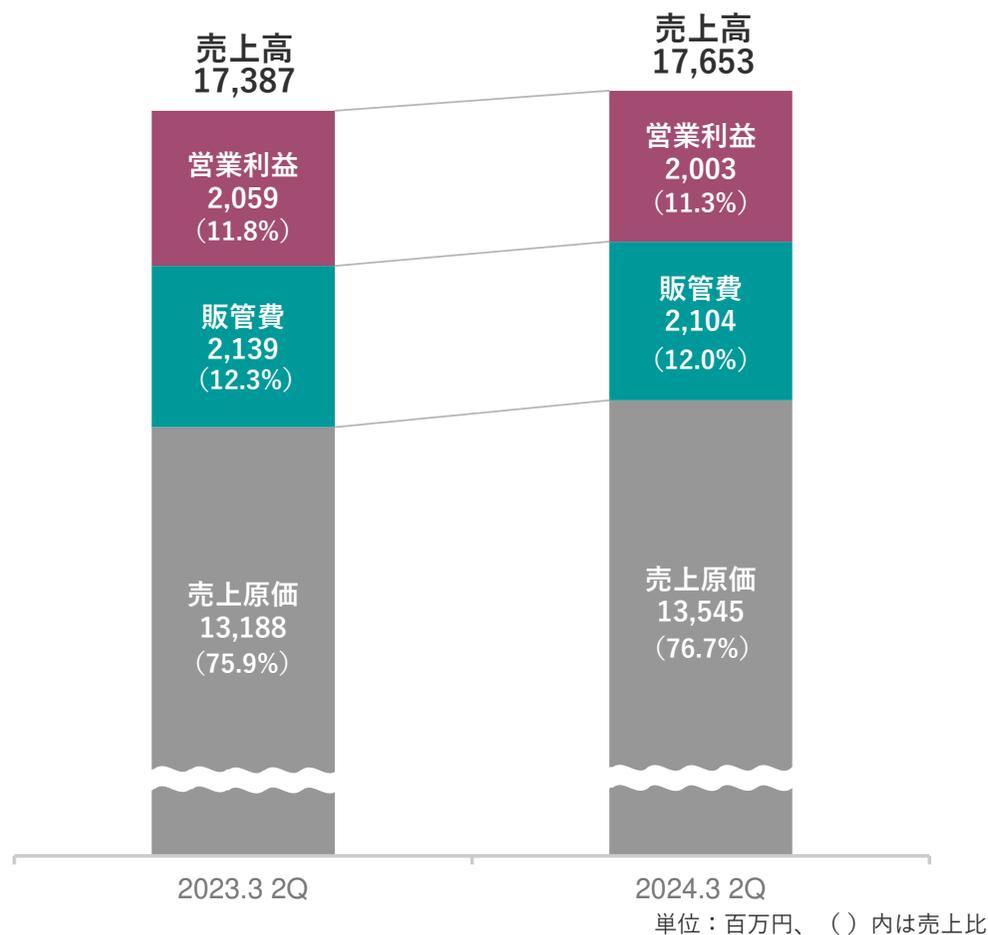


単位：百万円

事業区分別の状況(ソフトウェア開発関連②)



売上原価・販管費



売上原価（前年同期比 357百万円増）

- 社員の待遇改善により人件費が増加
（売上原価の主な内訳）
人件費 9,614百万円（前年同期比 130百万円増）

販管費（前年同期比 34百万円減）

- 営業部門を強化する一方で、間接部門の作業効率化を推進

(要約) 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書

貸借対照表

	2023.3 4Q	2024.3 2Q	前期比 増減額
資産の部	48,166	49,084	917
流動資産	32,832	33,816	983
固定資産	15,333	15,267	▲65
負債の部	8,391	8,418	26
流動負債	6,966	7,066	99
固定負債	1,425	1,352	▲73
純資産の部	39,775	40,666	891
株主資本	39,724	40,616	892
評価・換算差額等	51	50	▲0
負債純資産合計	48,166	49,084	917
自己資本比率	82.6%	82.8%	—
1株当たり純資産	2,833.16円	2,896.68円	63.52円

単位：百万円

キャッシュ・フロー計算書

	2023.3 2Q	2024.3 2Q	前期比 増減率
営業活動CF	2,050	2,401	17.1%
投資活動CF	▲1,316	▲34	▲97.4%
財務活動CF	▲772	▲492	▲36.3%
現金等増減額	▲37	1,875	—
現金等期首残高	22,200	22,542	1.5%
現金等四半期残高	22,162	24,417	10.2%

単位：百万円

2024年3月期の見通し

systems

業績見通しハイライト

POINT1 一部の大規模案件で、開発計画の変更があり
急遽4月以降の開発体制が縮小に
第1四半期に一時的な稼働減が発生
通期の増収幅は前期比で縮小予測

POINT2 事業環境は堅調なため、商談量は十分
特に公共分野の拡大を見込む
体制増強を継続し、業績を拡大

POINT3 環境の変化によりPC教室等への投資は「踊り場」
主力のPC教室構築案件が小型化している影響もあり
自社製品売上は減少予測

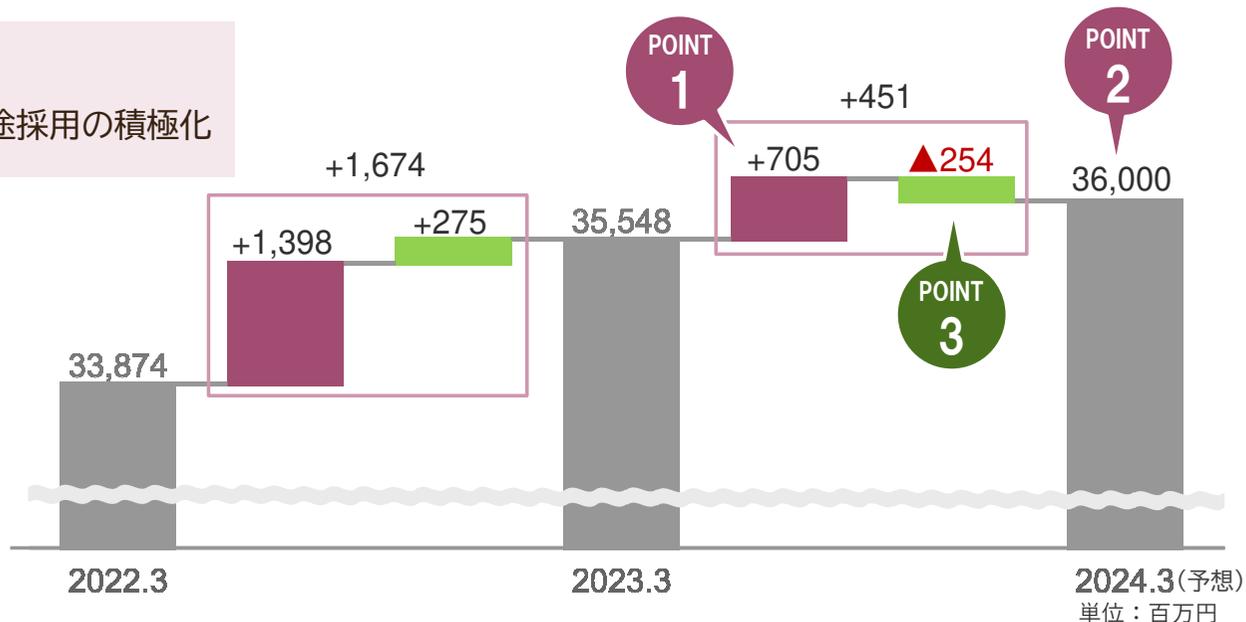
環境変化へのキャッチアップが必要

事業拡大に向けたソリューションの拡充・進化

開発要員の確保がカギ

若手の早期戦力化、ビジネスパートナーと連携強化、中途採用の積極化

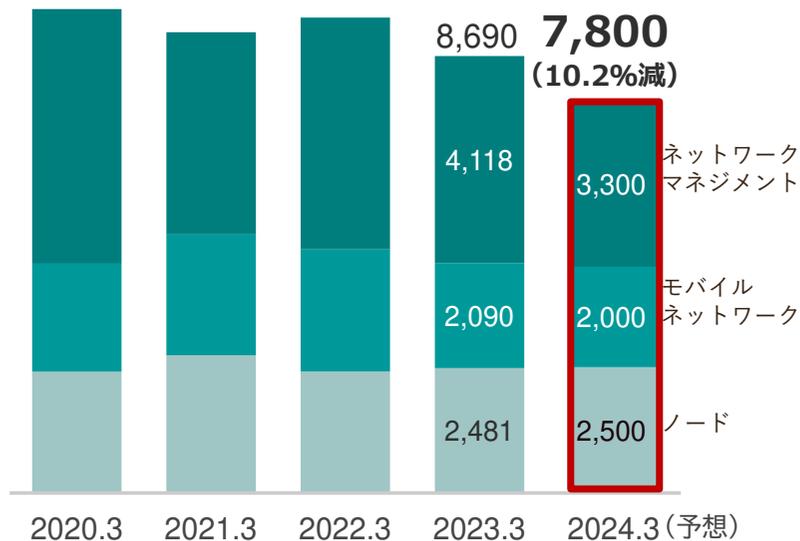
■ 売上高
■ ソフトウェア開発関連事業 売上高
■ プロダクト・サービス 売上高



2024年3月期 見通し

通信システム

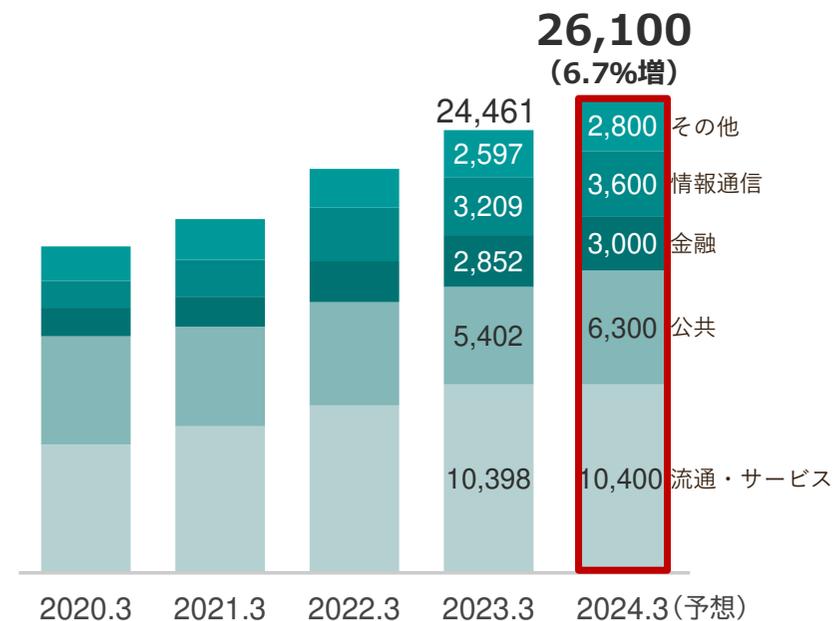
IOWN関連は増加を見込むものの、放送用ネットワークの大型案件が終了した影響等により減少予想



単位：百万円

オープンシステム

大型案件の体制縮小の影響により、流通・サービスは前期並みにとどまるものの、その他はすべて増加予想



単位：百万円

2024年3月期 見通し(全体)

売上高は360億円(前期比1.3%増)、営業利益は43億円(前期比2.0%増)

セグメント別

	2023.3	2024.3	増減額 (増減率)
ソフトウェア 開発関連	34,294	35,000	705 (2.1%)
プロダクト・ サービス (“その他”事業)	1,254	1,000	▲254 (▲20.3%)
売上高	35,548	36,000	451 (1.3%)
営業利益	4,213	4,300	86 (2.0%)

単位：百万円

ソフトウェア開発関連事業 事業区分別

	2023.3	2024.3	増減額	増減率	構成 比率
ノード	2,481	2,500	18	0.7%	7.1%
モバイルネットワーク	2,090	2,000	▲90	▲4.3%	5.7%
ネットワークマネジメント	4,118	3,300	▲818	▲19.9%	9.4%
通信システム	8,690	7,800	▲890	▲10.2%	22.3%
公共	5,402	6,300	897	16.6%	18.0%
流通・サービス	10,398	10,400	1	0.0%	29.7%
金融	2,852	3,000	147	5.2%	8.6%
情報通信	3,209	3,600	390	12.2%	10.3%
その他	2,597	2,800	202	7.8%	8.0%
オープンシステム	24,461	26,100	1,638	6.7%	74.6%
組み込みシステム	1,142	1,100	▲42	▲3.7%	3.1%

単位：百万円

経営戦略

systems

経営戦略

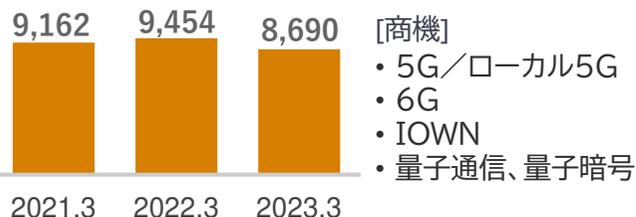
戦略	主な内容
システム開発事業の基盤拡大	主力分野の安定的拡大と次なる成長エンジンの獲得 開発技術の競争力強化・付加価値向上
新たな収益源となるビジネスの創出	文教ソリューションの拡充・進化 新たなソリューションの創出
サステナビリティマネジメントの強化	人的資本開示への対応、多様な人材の能力発揮 サプライチェーンサステナビリティへの対応

システム開発事業の基盤拡大 ～主力分野の安定的拡大と成長分野への展開～

主力3分野の安定的拡大

①通信システム（構成比率 25%）

次世代通信システムへの着実な貢献



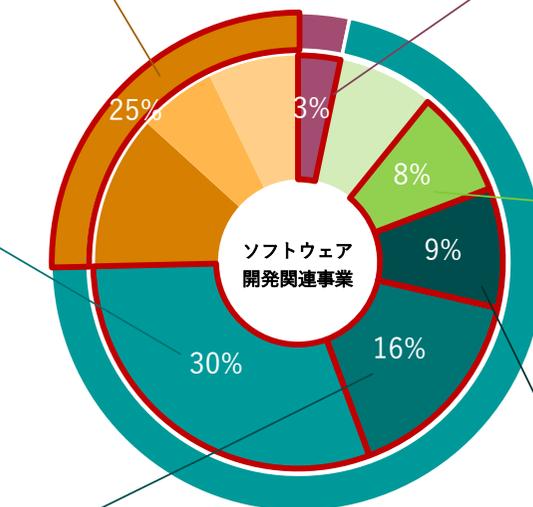
②流通・サービス（構成比率 30%）

Eコマース拡大が成長の原動力



③公共（構成比率 16%）

収益基盤の中長期的な安定性確保

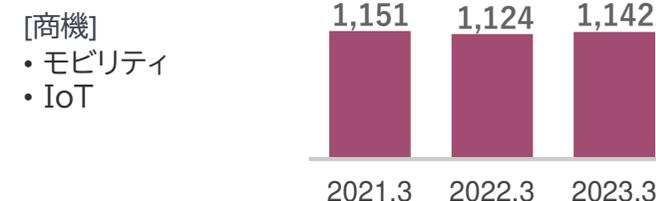


※OMO(Online Merges with Offline):
 オンライン・オフラインが融合し、それらを意識せずに
 モノやサービスの購入・体験ができるビジネスモデル

次なる成長エンジンの獲得

①組み込み（構成比率 3%）

さらなる事業分野の拡大



②金融（構成比率 8%）

参画余地の大きな巨大市場



③情報通信（構成比率 9%）

通信事業者の収益モデル転換先



新たな収益源となるビジネスの創出

文教ソリューションの拡充・進化

- 既存製品の機能拡充
BYOD対応、クラウドサービス化、
一般法人市場へのソリューション展開
- 研究開発の推進
教育機関経営のDX化に資する新ソリューションの開発

[研究開発]

- 授業録画の運用自動化システムの研究開発
 - 2023年07月 大学での運用検証を開始
- XRを用いた教育支援に関する研究開発
 - 2023年04月 大学と共同研究を開始
 - 2023年06月、10月 xR総合展に参考出展

[製品リリース予定] 2023年度中

- 授業録画自動配信システム
- XRを用いた教育支援システム



PC管理者様向け

多台数のPC運用でお悩みの方に。
PC教室、貸出ノートPCの管理に最適。

V-Boot



PC授業を行う教員様向け

スムーズなPC授業をサポート。
Windows/Mac/LinuxのマルチOS対応。

alphaVclassCloud



PC管理者様向け

PCメンテナンスの手間を削減。
PCの再起動だけで簡単に環境復元。

V-Recover

サステナビリティマネジメントの強化

人的資本経営

社員一人ひとりの成長を支援する

働きがいのある会社



人材育成の充実

充実した階層別研修、技術教育の拡充
先輩社員による実践力を重視したOJT



業務への挑戦の機会

業務分野、開発技術・工程の異なる
プロジェクトへのジョブローテーション



マネジメントの強化

管理職のスキルアップ研修
重要ポジションへのアサインメント

多様性開示

多様な人材の働き方を支援する

働きやすい会社



女性が活躍できる職場

積極採用、管理職登用、育児休業制度
短時間勤務、在宅勤務



障がい者の就業支援

積極採用、業務創出、職場環境整備
長時間労働削減、作業サポート

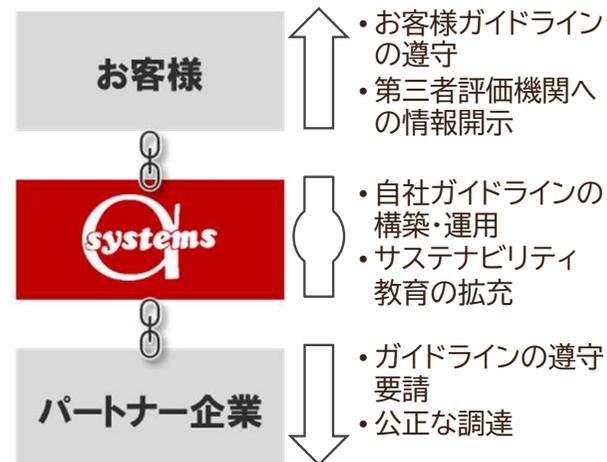


株主、投資家、就職希望者など
ステークホルダーに有用な情報展開

サプライチェーンサステナビリティ

サプライチェーン全体を通して

持続可能な調達



生成AIへの取り組み状況①



生成AIによる

ITシステムの高度化

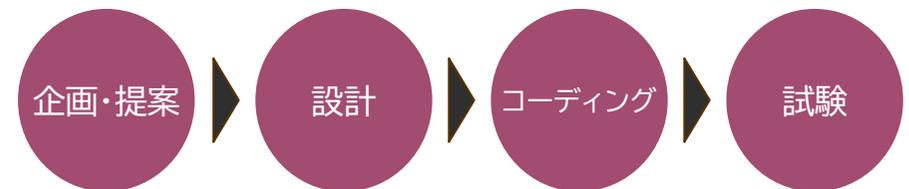
- 様々な業種や業務で生成AIを活用したITシステムの高度化が進展
- システム化需要は今後ますます拡大



生成AIによる

システム開発力の強化

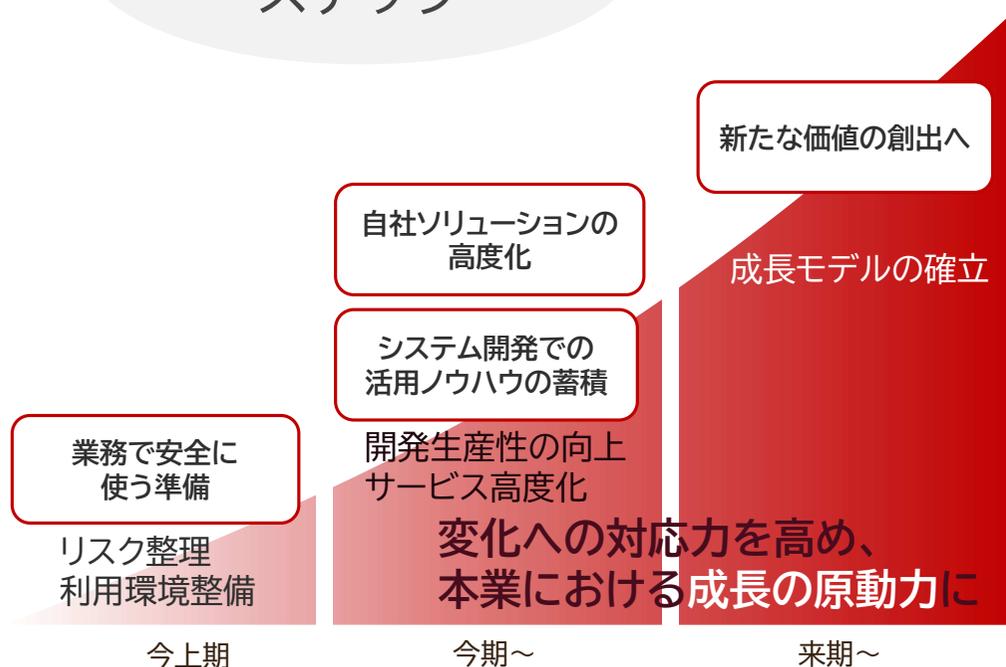
ソフトウェア開発プロセスにおける優れた開発ツールとして活用し、システム開発の生産性を向上



AIで発展するIT市場で、開発力を高めてさらなる成長へ

生成AIへの取り組み状況②

取り組み ステップ



業務で安全に使う準備(今上期)

- クラウドサービスを活用した生成AIの利用環境を整備し、社内向けに運用を開始
- 利用者全員を対象に、生成AIリテラシー教育を実施



活用ノウハウの蓄積(今期～)

- 業務での活用シーンを想定した生成AIの利用・評価を開始
- プログラムコード生成専用ツールの評価・検証を開始



自社ソリューションの高度化(今期～)

- AIモデルの調査・研究
- 社内情報をAIで安全に活用するシステム(RAG※)の調査・研究
- 文教市場向け新商品への適用検討

※RAG(Retrieval Augmented Generation): 検索機能を組み合わせることで、AIモデルを再トレーニングすることなく生成の質を向上させる手法

中長期的な成長の方向性

“社会インフラを支える企業”として成長を追求

お客様の事業に精通したエンジニアが最新の技術を活用し、初期開発から安定かつ上質なサービスを継続的に提供することを支援する企業

【当社を取り巻く環境】

- ITモダナイゼーション、企業DXによりマーケットは拡大
- クラウド、デジタル、AI、IoT、メタバース、量子等、技術革新が加速
- IT人材不足
- 通信系人材不足

【当社の強み】

- プロパー主義による知識・スキルの蓄積
- ソフトウェア開発技術
- 通信システムの開発実績
- 種々の分野における業務知識

通信系インフラを支える

IOWN構想や6Gの実現に向けて、既存のネットワークを知る技術者を提供

通信系インフラの要求条件や最新技術に精通し、高品質なソフトウェアを提供

基幹システムを支える

流通、公共、金融等

大規模システムの開発力を核とした事業基盤の着実な成長

超上流工程からの展開

お客様の課題に深く踏み込み、中規模SIを拡大

教育機関のDXを支える

文教分野の商流を確保し、プロダクトビジネスの売上高構成比率で10%を目指す

新製品の開発や大学との共同研究等により、教育機関のDXを支える

卷末資料

systems

主要数値の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
売上高	30,825	31,318	33,874	35,548	36,000
前期比増減率	5.9%	1.6%	8.2%	4.9%	1.3%
営業利益	3,337	3,370	4,033	4,213	4,300
前期比増減率	8.5%	1.0%	19.7%	4.5%	2.0%
対売上高比率	10.8%	10.8%	11.9%	11.9%	11.9%
当期純利益	2,293	2,281	2,788	2,918	2,940
前期比増減率	9.8%	▲0.5%	22.2%	4.7%	0.7%
対売上高比率	7.4%	7.3%	8.2%	8.2%	8.2%
販売費及び一般管理費	3,927	4,042	4,144	4,258	4,300
前期比増減率	3.9%	2.9%	2.5%	2.7%	1.0%
対売上高比率	12.7%	12.9%	12.2%	12.0%	11.9%
設備投資	118	99	126	43	130
前期比増減率	▲39.8%	▲15.8%	26.3%	▲65.5%	198.2%
減価償却費	260	250	249	230	240
前期比増減率	0.7%	▲4.1%	▲0.4%	▲7.6%	4.2%
1株当たり当期純利益	163.38円	162.54円	198.64円	207.91円	209.41円
自己資本純利益率 (ROE)	6.7%	6.4%	7.5%	7.5%	7.2%
配当金	70円	50円	80円	70円	70円
配当性向	42.8%	30.8%	40.3%	33.7%	33.4%

単位：百万円



株式会社アルファシステムズ

<https://www.alpha.co.jp/>

<本資料の取扱上のご注意>

業績予想等につきましては、本資料の発表日現在におきまして入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

<本資料に関する問い合わせ>

〒211-0053 川崎市中原区上小田中6丁目6番1号 本社(中原テクノセンター1号館)

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室

TEL : (044)733-4111(代) E-mail : ir@alpha.co.jp

WEB : <https://www.alpha.co.jp/>